
原文

名前 「

」

楚^ニ有^リ二祠^ル者^一、賜^フニ其^ノ舍^人卮^酒。舍^人相^{ヒテ}謂^フ曰^ク、「数^{マバ}人^ヲ飲^レ之^ヲ不^ラ足^ラ、一^{マバ}人^ヲ飲^レ之^ヲ有^リ余^リ。請^フ画^{キテ}地^ニ為^リ蛇^ヲ、先^ズ成^ル者^一飲^レ酒^ヲ。」一^ノ人^ノ蛇^先成^ル。引^{キテ}酒^ヲ且^ニ飲^{マント}之^ヲ、乃^チ左^{ニテ}手^チ持^ヲ卮^ヲ、右^{ニテ}手^チ画^{キテ}地^ニ曰^ク、「吾^ク能^{ラント}為^ニ之^ガ足^ヲ。」未^ダ成^ラ、一^{ルニ}人^ノ之^ノ蛇^成、奪^{ヒテ}其^ノ卮^ヲ曰^ク、「蛇^{ヨリ}固^シ無^シ足^一。子^{ンゾ}安^ク能^{ランヤ}為^ニ之^ノ足^ヲ。」遂^ニ飲^ム其^ノ酒^ヲ。一^一為^ニ蛇^足者^一、終^ニ亡^フ其^ノ酒^ヲ。

書き下し文

楚^そに祠^{まつ}る者^{もの}あり、其^その舍^{しやじん}人^{ししゆ}に卮^{たもウ}酒^{しやじんあい}を賜^いふ。舍^い人^わ相^あ謂^いいて曰^いく、「数^{すうにんこれ}人之^のを飲^のまば足^たらず、一^{いちにんこれ}人之^のを飲^のまば余^あり有^あり。請^{こウ}ふ地^ちに画^{えが}きて蛇^{へび}を為^{つく}り、先^まず成^なる者^{もの}酒^{もの}を飲^のまん」と。一^{いちにん}人^{へび}の蛇^ま先^なず成^なる。酒^{さけ}を引^ひきて且^{まさ}に之^{これ}を飲^のまんとす、乃^{すなわ}ち左^{ひだり}手^てにて卮^しを持^もち、右^{みぎ}手^てにて地^ちに画^かきて曰^{いわ}く、「吾^{われ}能^よく之^{これ}が足^{あし}を為^{つく}らん」と。未^{いま}だ成^ならざるに、一^{いちにん}人^{へび}の蛇^な成^なる、其^その卮^{うば}を奪^いいて曰^{いわ}く、「蛇^{へび}固^{もと}より足^{あし}無^なし。子^{しい}安^ずんぞ能^よく之^{これ}が足^{あし}を為^{つく}らんや」と。遂^{つい}に其^その酒^{さけ}を飲^のむ。蛇^だ足^{そく}を為^{つく}る者^{もの}、終^{つい}に其^その酒^{さけ}を亡^{うしな}ふ。